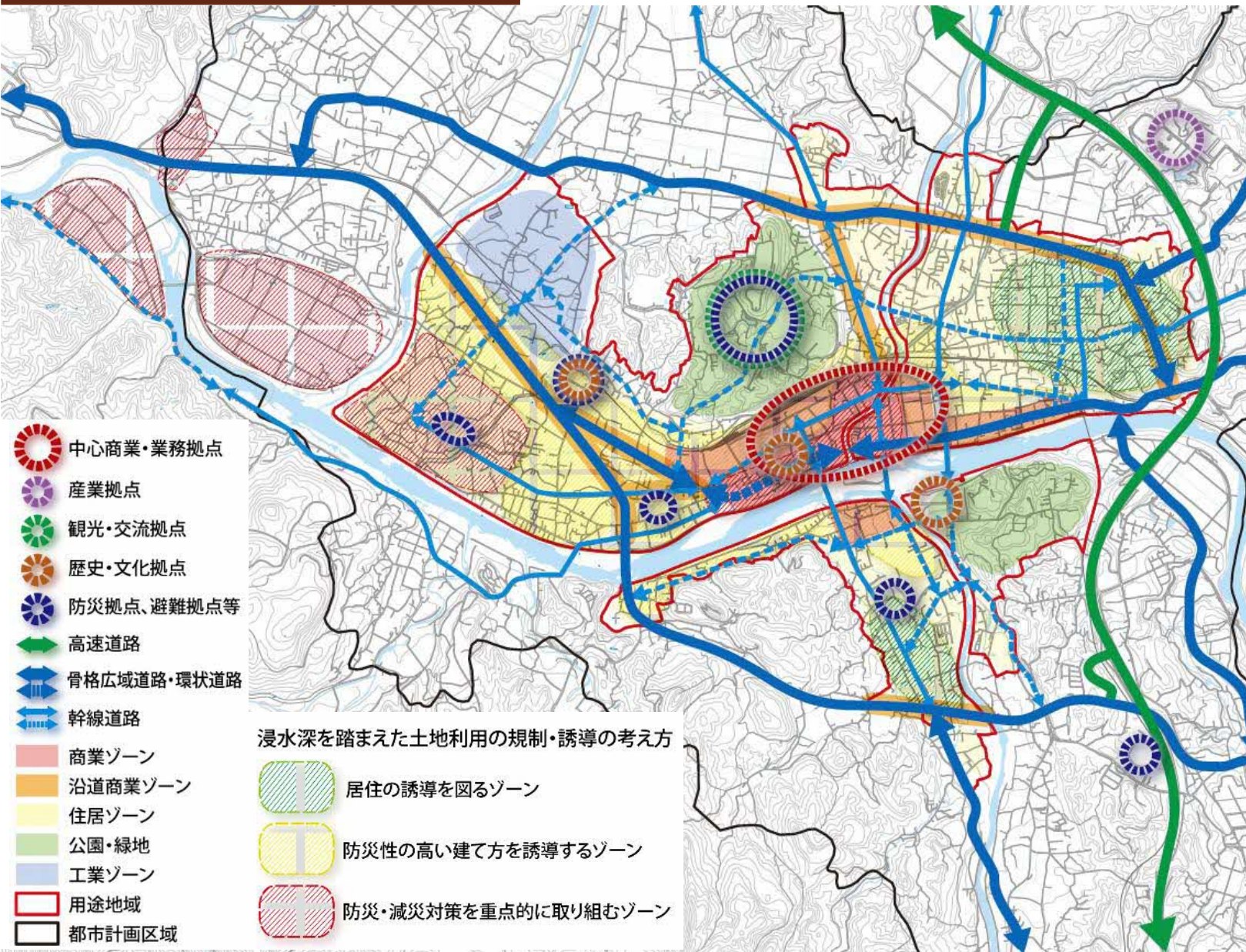


各地区の復興まちづくりの取組方針（案）



「地区別懇談会」で検討中の内容をお知らせします。

土地利用の方向性（案）



各地区の復興まちづくりの取組方針(案)

※各地区の復興まちづくりの取組方針は、以下の項目を基本としつつ、地区の特性・課題に応じて、主な取組のメニューを選択し、検討を進めています。

①被災者のくらし再建とコミュニティの再生 【住まい再建】 【コミュニティ再生】

住まい再建における安全性の向上

コミュニティの再生

集会所等のコミュニティ拠点の再建

②力強い地域経済の再生 【生業再建】

まちなかの生業再生に向けた環境づくり

観光資源である”温泉”を活かしたまちづくり

人吉城址周辺の活性化

農地の再生による生業の再建

③災害に負けないまちづくり 【避難対策】

安全な避難路の整備

緊急避難場所の整備

複数の避難路・避難場所の確保

「安全な避難」のための「平常時の準備」

適切な情報発信の実施

地域性を踏まえた自助共助の避難誘導体制の構築

避難所の見直し、機能拡充

避難所・自主避難所の運営方法の検討

【復興まちづくり】

地域特性を活かした魅力ある復興まちづくりの推進

一体的な復興まちづくり方針の共有

人が集い、過ごす風景の再生

【治水・土砂災害対策】

流域治水プロジェクト（流水型ダム整備、市房ダム再開発、森林整備・保全、田んぼダム、河道掘削、遊水地整備、雨水貯留・浸透施設の整備等）

内水対策、排水対策の推進・促進

急傾斜地対策、斜面崩壊箇所の復旧

各地区の懇談会での検討の方向性

大柿地区

中神町大柿、小柿

大柿地区は、今次豪雨による被災状況を踏まえ、住まいの再建やコミュニティの再生、農地の復旧、避難路・避難所の見直し等の取組を中心に検討を進めています。また、流域治水（遊水地）については、国の検討状況を確認しています。

中神地区

中神町城本、段、馬場、
下原田町瓜生田

中神地区は、今次豪雨による被災状況を踏まえ、住まいの再建やコミュニティの再生、農地の復旧、避難路・避難所の見直し等の取組を中心に検討を進めています。また、流域治水（遊水地）については、国の検討状況を確認しています。

温泉下林地区

下林町、中林町、温泉町

温泉下林地区は、球磨川・万江川や小河川による浸水の危険性に備えて、「早めの避難」など避難方法の見直しや地区内での緊急避難場所の確保、コミュニティの核となる場の再生等の取組を中心に検討を進めています。

薩摩瀬地区

宝来町、相良町、
上薩摩瀬町、下薩摩瀬町、下城本町

薩摩瀬地区は、球磨川や御溝川による浸水の危険性があるため、避難方法の見直しや地区内での緊急避難場所の確保、住まいの再建における安全性の向上等の取組を中心に検討を進めています。

左岸地区

西間下町、矢黒町、下戸越町

左岸地区は、球磨川と支流、急傾斜地に挟まれており、浸水と土砂災害の危険性があるため、「早めの避難」の徹底や「安全な避難」を実現するために必要となる取組を中心に検討を進めています。

人吉市まちなかグランドデザインの方角(案)

※仮称まちなかのまちづくりのテーマ（将来像）

「〇〇〇〇のまち」 ひとよし

安全・安心と
ともにある復興

水害としなやかに※1
向き合いながら暮らす

多様な文化と心地良い環境を育む
人間尺度※2を大切に暮らす

多様な文化と
ともにある復興

調和・連携

盆地に囲まれながら
川を感じ川に開いて暮らす

美しい球磨川・盆地と
ともにある復興

3つの柱が調和・連携し復興まちづくりを推進

多様な文化とともに歩んできた相良700年の歴史ある人吉に最大限の敬意を払い
水害を乗り越え、美しい球磨川とともにある『持続可能な地域づくり』に取り組む

※1 将来の起こるかもしれない水害等の自然災害に対し、事前に備え柔軟に対応するという意味を込めて
「しなやかに」という言葉を用いています。

※2 歩きやすい道幅や圧迫感のない建物の高さなどに配慮された町に、人は心地よさを感じます。城下町の歴史
がある人吉市の中心部においてもこのような「人間が心地よさを感じる尺度」は大切にしたいと考えます。

人吉市まちなかグランドデザインの方向 イメージ図(賑わい・歴史・文化)

人吉市まちなかグランドデザイン ③歴史・文化・賑わい形成の方針(案)

(凡例)

※提案事項

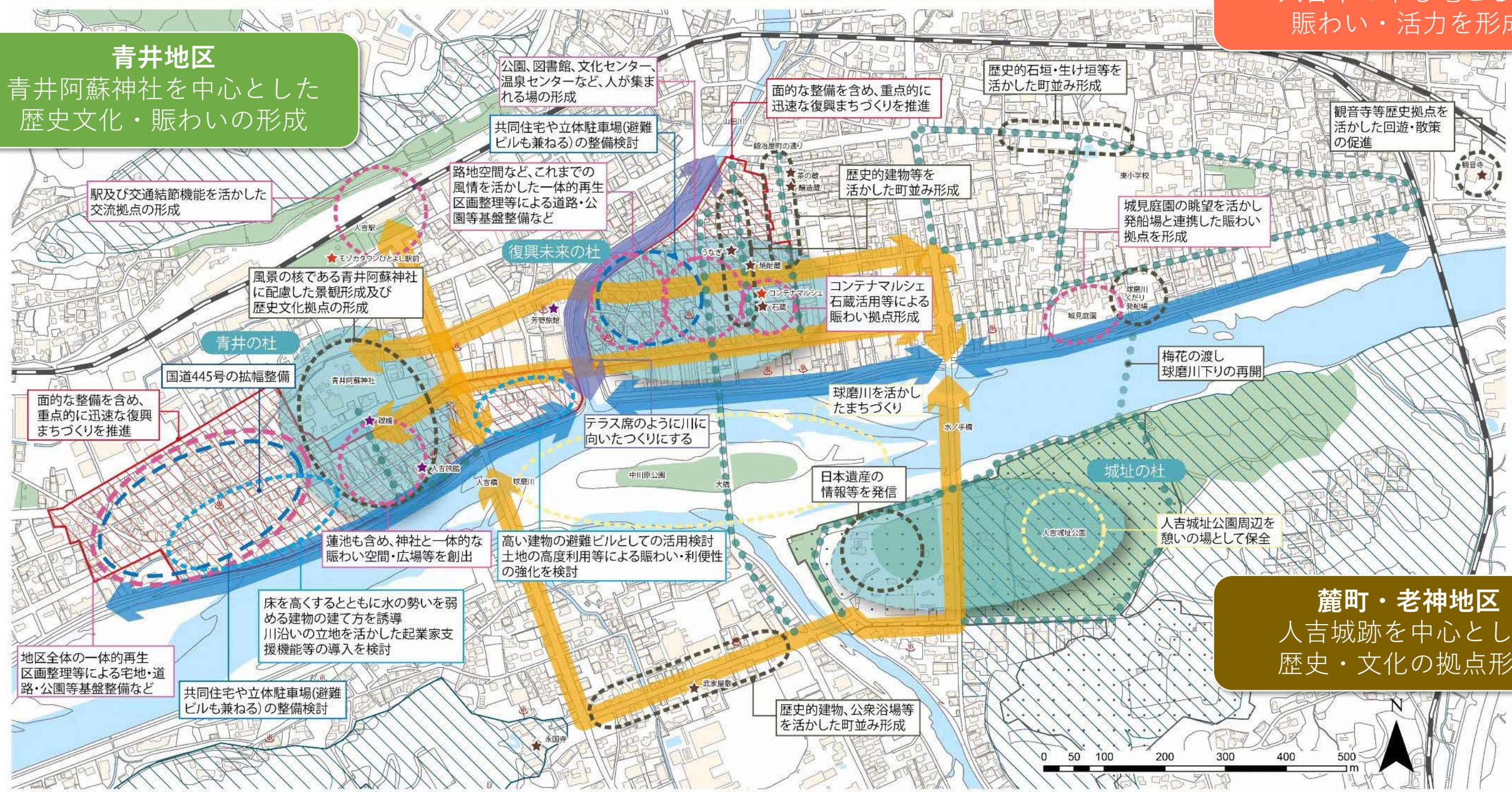
- 人吉の歴史を語り継ぎ明るい未来を創る3つの杜
※青井の杜(古代中世)、城址の杜(中世近世)、復興未来の杜(現在から未来)
- 賑わい・交流軸(3つの杜を連携し、賑わい・交流を促進する軸を形成する)
- 球磨川プロムナード軸(球磨川の魅力を活かした親水空間の形成を図る)
- 山田川親水軸(山田川の魅力を活かした親水空間の形成を図る)
- 回遊散策路(人吉の魅力を楽しめる散策コースの形成を図る)
※賑わい・交流軸、球磨川プロムナード軸、山田川親水軸は機能として回遊散策路を兼ねる

- 賑わい・交流拠点(人が集い賑わう交流拠点を形成する)
- 歴史・文化拠点(歴史・文化資源を活かした拠点形成を図る)
- 潤い・憩い拠点(自然環境等を活かし潤いを感じ憩える拠点形成を図る)
- まちなか居住・避難拠点(避難場所も兼ねたまちなか居住の拠点形成を図る)
- 創造・交流拠点(川沿いの環境を活かした創造・交流を促進する拠点形成を図る)
- 被災市街地復興推進地域

- 風致地区
- 公園・緑地
- 史跡人吉城跡
- 登録文化財
- 歴史的建物等
- 仮設店舗等
- 温泉・公衆浴場

中心市街地
人吉市の中心地として
賑わい・活力を形成

青井地区
青井阿蘇神社を中心とした
歴史文化・賑わいの形成



麓町・老神地区
人吉城跡を中心とした
歴史・文化の拠点形成

※これまでの地区別懇談会の意見を踏まえた、人吉市まちなかグランドデザイン（案）です。決定事項ではなく今後の関係者調整含めた具体化への精査・検討が必要です。

中心市街地 復興まちづくり計画(たたき台)

中心市街地西側（たたき台）

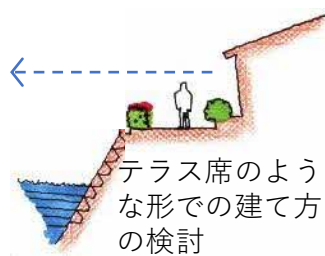
復興未来の杜エリア

古代中世の杜（青井神社周辺）
中世近世の杜（城址公園周辺）
復興未来の杜（紺屋町、九日町等周辺）
3つの杜がグリーンインフラとなり回遊を
促し環境共生型都市として未来型復興を図る

賑わい・観光・交流拠点の形成



川沿いの回遊を促す
足湯のイメージ



テラス席のよう
な形での建て方
の検討



復興型商店街の再生



ひかりの復興計画による
夜間景観イメージ



新温泉（歴史的建物）
の在り方検討



1階に・Uターン、被災商店
主向け店舗、2・3階に住居
やシェアハウス

まちの玄関口としての景観形成



道路、建物が一体となった
沿道景観形成

歴史的な町並みの形成



十軒町通りの歴史的建物
を活かした町並み形成



鍛冶屋町の町並み形成



ひかりの復興計画による
夜間景観イメージ

生業・生活支援拠点の形成



コンテナマルシェ



コーヒー屋台

趣味、部活動を
まちなかで

小さい子が安心
して遊べる環境

子育て世代支援+生活広場



石蔵の活用イメージ

雨水浸透緑地帯の導入



雨水が時間をかけ排水
され豪雨時の被害軽減

桜の植樹を検討



1000本の桜を植樹し自然
と調和・共生した観
光都市へ

賑わい・交流軸の形成

賑わい・交流軸の形成

球磨川プロムナード軸の形成



テラス型のオープンカ
フェ等を検討



石垣等自然素材の検討

交流・文化・まちなか居住拠点の形成



地場産材を使用した災害公営住宅



敷地内を通り抜けることが
できる分棟型文化交流施設
のイメージ



中心市街地の新たな拠点となる
緑豊かな図書館等のイメージ



親温泉ポケットパークの
イメージ

癒やし・寛ぎ・宿泊拠点の形成



球磨川沿いの老舗ホテル・旅館を中心とした
滞在型の癒やし・寛ぎ拠点を形成



温泉巡り、魅力的な商店などの湯上がり散策

中心市街地 復興まちづくり計画(たたき台)

中心市街地東側 (たたき台)

【空き地】
・空き家少なく、空き地が多い
・土地を買い取ってほしい方が多いのでは？
・緑地化、芝生化をする
・出身著名人に依頼し「・・・の森」というふうにオーナー制として管理すれば



石垣・生け垣を活かした町並み形成

防災拠点としての充実化
バリアフリー化の推進
歩行での早めの避難所としての整備（人吉高校との役割を明確化）



人吉の魅力を楽しむ散策コースの形成



観音寺（相良三十三観音めぐり）



個人商店（肉屋、魚屋、駄菓子屋、喫茶店など）が出店したくなる環境づくり

青井阿蘇神社から発船場までの散策路の形成



趣ある建物を散策コースのポイントに

【プロムナード】
・川沿いに休憩できる、遊べる場所を
・親水や様々なものに“触れる”場所を
・車の乗り入れを制限する。ただし隣接家庭には「通行許可書」を発行する



城見庭園の利活用



眺望を楽しみ回遊を促す足湯を配置



観光複合施設『HASSENBA』が拠点に

個人として嵩上げが困難なので地区として小規模な区画整理等を検討したい

川下り、ラフティング、カヌーを始めとしたリバーアクティビティの拠点化

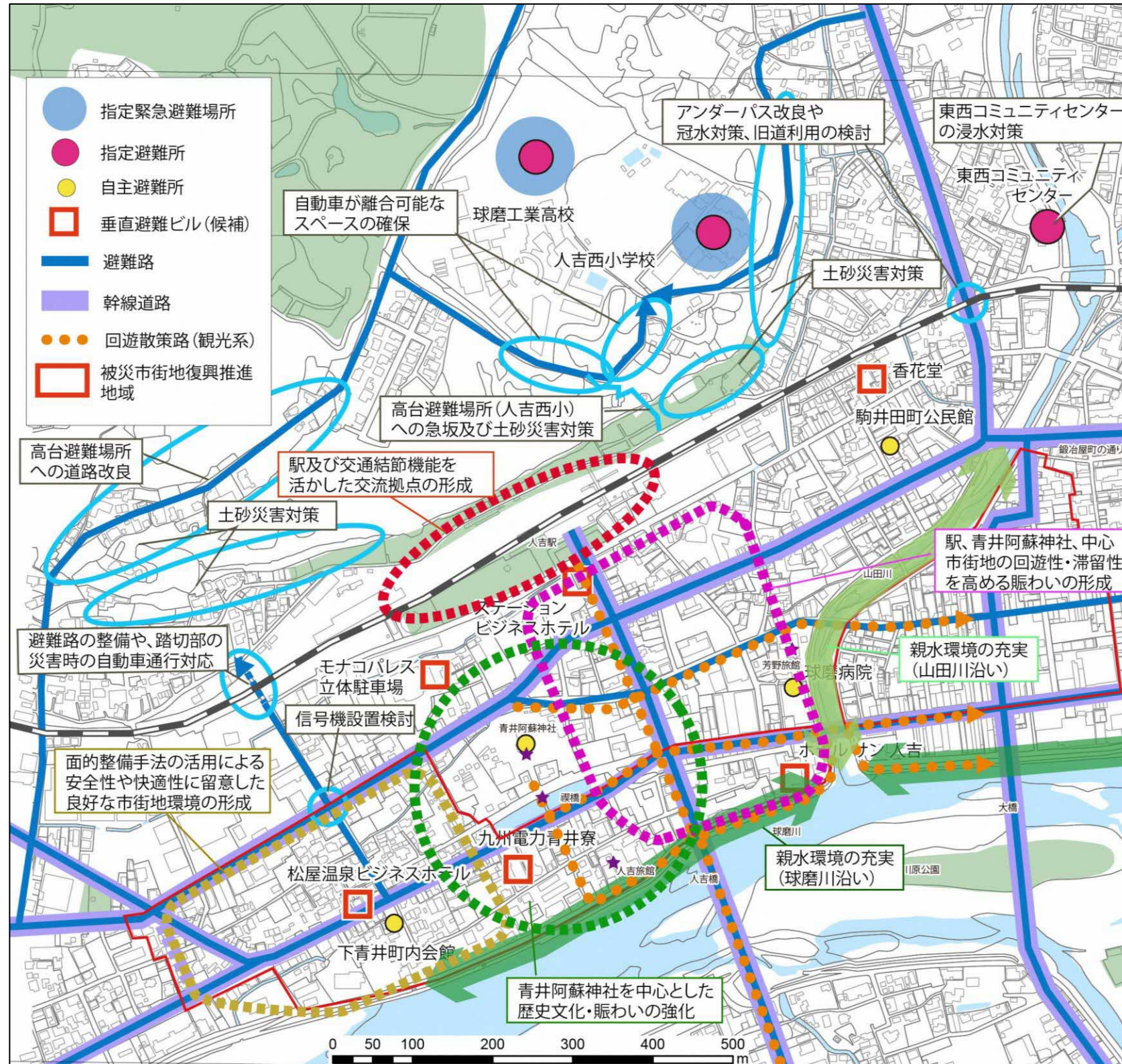


上新町か下新町に中心市街地の方々のため災害公営住宅確保の検討

【住宅地としての上新町・下新町の在り方】
・若い世代が住めるように、住宅の近くに子どもを預けられる場を。夜でも安心して働くことができる環境の整備をする
・まちなかの方や市外の方も含めて移住の促進を図る
・U・I・ターンの方が住める住宅（店舗併用）
・高齢者が楽しめるまちづくり
⇒高齢者がくれば若者も仕事を求めて定住するのでは

青井地区 復興まちづくり計画(たたき台)

※これまでの地区別懇談会の意見を踏まえた、復興まちづくりのイメージ（案）の概要です。 具体の取組み内容は、決定事項ではなく今後の関係者調整含めた具体化への精査・検討が必要です。



復興まちづくり

駅及び交通結節機能を活かした交流拠点の形成

- ・ JR肥薩線の早期再開
- ・ 高速バス停留所の設置
- ・ 駅周辺への立体駐車場の整備（垂直避難場所）
- ・ 広域玄関口としての歴史性や周辺の公園等を活かした交流環境の充実

駅、青井阿蘇神社、中心市街地の回遊性・滞留性を高める賑わいの形成

- ・人吉駅停車場線沿道周辺の賑わい機能の強化（商業・観光関連施設の立地誘導、起業家活動の活性化）
- ・主な回遊軸（回遊散策路）の街並み景観の魅力強化（歩きたくなる景観の演出、景観計画に基づく良質な景観誘導の強化）

青井阿蘇神社を中心とした歴史文化・賑わいの強化

- ・ 蓮池や文化財を活かした“神社と一体的なやすらぎと賑わいの拠点『青井の杜』の創出
- ・ 門前町らしい歴史性を感じられる公園・広場整備と、『球磨絵図』など歴史性の発信
- ・ 周辺の文化財等を活かした門前町らしい環境づくり
- ・ 観光物産・歴史文化発信・観光交流体験等の拠点機能の強化
- ・ 地域住民の日常的な交流・コミュニティの場づくり
- ・ 球磨川とつながる参道整備と、まちなかを歩きたくなる回遊散策路の充実
(中心市街地や人吉城址を結ぶ多様な魅力ある回遊軸の形成)

安全性や快適性に留意した良好な市街地環境の形成

- ・ 国道445号の歩行空間等の充実（線形改良の検討含む）
- ・ 避難路・避難場所の充実につながる道路・公園等の整備
- ・ 計画的な市街地誘導とまちなみ景観の向上
- ・ 国道沿いへの店舗等の日常生活利便施設の誘導

親水環境の充実

- ・球磨川沿いや山田川沿いは、水辺の魅力を活かし親水空間と散策回遊環境を充実

まちなかの賑わいを高める環境づくり

- ・人吉ひかりの復興計画と連携した夜間景観を楽しむエリアの拡大
- ・様々な観光客の集客に資する交通環境の充実
- ・低地での土地利用活性化や中心市街地全体の中での賑わい機能の共存に留意した多様な機能の導入検討（業務系など）
- ・まちなかの空き家・空き地等を活用した定住環境の魅力向上（交流や憩いの場、公園・緑地など）

避難対策

垂直避難可能な避難ビルの確保

- ・高層階のある立体駐車場・ホテル・マンション等への協力依頼
- ・災害時利用の協定の締結、避難ビル指定、利用ルールの検討
- ・新たな建物整備での避難ビル化の検討

※避難ビルは地区別懇談会意見に基づく候補案であり、今後施設内容や所有者意向等を踏まえつつ、候補施設の精査や拡大（新たに整備予定の建物含む）に向けた検討・調整を進めていきます。

様々な避難対策

- ・被災した避難所の建替や浸水対策
- ・一時避難場所の拡充検討と自主避難所の覚書締結
- ・避難所への避難路の確保
- ・防災情報の伝達機能強化
- ・自助共助の避難体制の構築
- ・地域特性を踏まえた地区防災計画の作成

住まい・生業再建

- ・安全性を高める建て方の誘導
- ・災害公営住宅の導入検討
- ・地域の集会所等の再建
- ・個々の事業所の再建支援
- ・継続的な賑わい創出の取組
- ・公共交通を活かした人の滞留の促進

治水・土砂災害対策

- ・流域治水プロジェクトの推進
- ・小河川の氾濫対策の推進・促進
- ・急傾斜地対策

面的整備手法の活用検討
(被災市街地復興推進地域)

- ・安全で快適な市街地環境形成等に資する面的まちづくり手法（区画整理等）の活用検討（空き地が多く、接道不良地区等で有効）
- ・町内の高台へ換地し住まいの安全性を高めるような区画整理等の検討

麓・老神地区 復興まちづくり計画(たたき台)

- 既存の避難所等
- ⊙ コミュニティ拠点他

避難場所・避難所

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 自主避難所
- 福祉避難所

道路幅員

- 1 15m以上
- 2 6m以上 15m未満
- 3 4m以上 6m未満
- 4 4m未満
- 都市公園
- 土地利用現況(道路用地のみ)_Intersect
- 地すべり調査予定
- 急傾斜地調査予定
- 土石流調査予定
- 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)
- 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)



取組み方針

□コミュニティの再生

- ・若い世代をはじめとした新住民の受け入れ。
- ・マンション居住者の共益費に区費を含める。
※法的な確認は必要
- ・田町に残っている旧商店街の古い町並みの活用。

□人吉城址周辺の活性化

- ・城址公園をイベント会場などに活用。
- ・歴史資料館収蔵品を浸からない場所への移動した上で保存。

□安全な避難場所・避難ルートの確保

- ・胸川西岸は第一中学校、別館保健センターを避難所として利用する。※新庁舎、医療センターは防災拠点としての機能強化
- ・胸川東側は相良神社、林鹿寺、東林寺を避難所として利用する覚書の締結
- ・麓地区の公民館設置の検討（管理等が大変なので設置しない方向/相良神社の活用）

□防災拠点等の整備

- ・老神排水樋門の機能改善

□避難誘導体制の確保

- ・町会長の負担を軽減・分散する
- ・町会長の引継ぎ時に、消防団が同席する等して防災の業務引継ぎを強化。
- ・市の出前講座を活用した防災への認識・体制を強化。

□町内の共助の確保

- ・隣接する町内会と共同で自主防災組織の立ち上げ、及び活動の充実化。
- ・町内住民の互助体制を構築。

□早期の避難情報の発信

- ・携帯電話/エリアメールを使った早期避難情報の発信。
- ・行政・消防による「空振り覚悟」の避難情報を発信。

□流域治水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下

※これまでの地区別懇談会の意見を踏まえた、復興まちづくりのイメージ（案）です。具体的な取り組み内容は、決定事項ではなく今後の関係者調整含めた具体化への精査・検討が必要です。

球磨川左岸地区 復興まちづくり計画(たたき台)

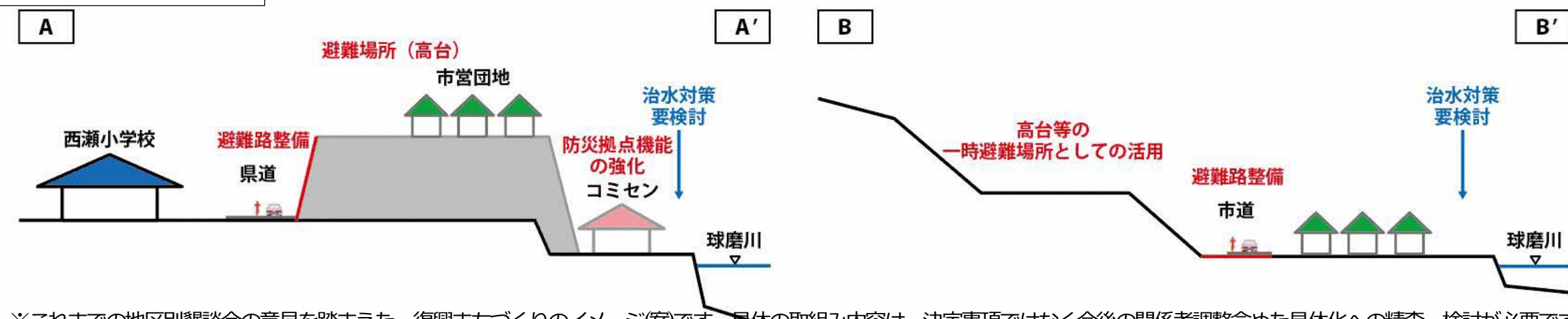
取組み方針

- **安全な避難路の整備** 土砂災害の危険区域や浸水しやすい箇所及び避難先（場所、キャパシティ等）、救助活動のしやすさ等を踏まえた避難路の整備を行う。
- **「早めの避難」の徹底** 避難できる道や方法がある時間帯の「早めの避難」を徹底する。
- **災害の危険性を認識するための情報入手手段を整える** 油断を防ぐため、平時から地域の災害リスクを知り、降雨時には周辺の状況や避難に関する情報などを入手することができる手段を用意する。情報の入手・共有に当たっては、デジタルツールの活用その他、高齢者等への情報共有に配慮する。
- **避難体制の構築** 班などの小さな単位で避難する体制づくりや、町内会・自主防災組織・消防団との連絡体制の構築を行う。

- **複数の避難場所の確保** 指定緊急避難場所の他、民間の施設や私有地も含め、水害時の一時避難が可能な避難場所を複数確保する。
- **避難所または自主避難所の運営方法の検討** ペットの同行避難の他、避難や避難生活に関する地域のニーズに備え、事前の検討を行う。／車ででの避難ができる場所（駐車場）の確保も必要。／避難先が一箇所に集中しないよう、分散させる工夫も必要。 ※避難方法の具体化（時期、ルート、場所、運営面）
- **避難路確保のための急傾斜地対策** 避難路の安全性を上げるため、急傾斜地対策を行う。
- **治水＋排水対策の強化** 矢黒第二排水樋管や矢黒町内の排水機能の強化。（改善できれば、周辺の道路を通行できる時間が長くなる）



断面イメージ図



- 計画（案）**

 -  避難路
 -  避難路※
 -  避難場所、避難所
 -  避難場所、避難所※
 -  安全な避難場所
 - ※要整備

土砂災害の危険区域

 -  土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）
 -  土砂災害警戒区域（イエローゾーン）
 -  地すべり調査予定
 -  急傾斜地調査予定
 -  土石流調査予定

避難場所・避難所

 -  指定緊急避難場所
 -  指定避難所
 -  自主避難所
 -  福祉避難所

浸水想定区域

 -  想定最大規模（L2）

その他

 -  農用地区域

※これまでの地区別懇談会の意見を踏まえた、復興まちづくりのイメージ(案)です。具体の取組み内容は、決定事項ではなく今後の関係者調整含めた具体化への精査・検討が必要です。